

4月1日付新採用職員の方皆さん（前列左から高橋美代子看護師、中屋克江看護師、松村千晶保健師。後列左から小田島敦主事補、高村光一臨床検査技師、武内昂主事、佐々木優聡主事、伊藤研主事補）。このほか、佐々木一匡田山診療所長と阿部真一学校教育課長補佐が新採用となりました



予算特別委員会

一般会計は156億8,200万円  
＝後期高齢者医療特別会計を新設＝

3月7日から12日まで、予算特別委員会（小笠原壽男委員長、松浦博幸副委員長）を開催しました。この委員会は、議長を除く全議員で構成し、平成20年度一般会計予算（総額156億8,200万円）のほか、新規に提案された後期高齢者医療特別会計を含む特別会計8会計、企業会計2会計を審議しました。ここでは、主な質疑を紹介します。

平成20年度各会計の予算額

（金額は、1万円未満を四捨五入）

会計名			20年度予算額	19年度予算額	18年度予算額	17年度予算額	
一般会計			156億8,200万円	159億1,350万円	152億6,220万円	154億5,060万円	
特別会計	国民健康保険（事業勘定）		33億6,864万円	33億1,572万円	28億8,902万円	28億4,817万円	
	後期高齢者医療		2億3,357万円	—	—	—	
	老人保健		2億9,864万円	31億4,325万円	31億5,757万円	33億905万円	
	簡易水道事業		—	—	—	3億6,097万円	
	公共下水道事業		11億1,660万円	8億2,570万円	11億8,821万円	10億5,800万円	
	農業集落排水事業		13億4,029万円	11億1,644万円	10億8,356万円	10億7,150万円	
	浄化槽事業		7,414万円	8,239万円	1億1,257万円		
	国民健康保険（診療施設勘定）		2億7,957万円	2億6,813万円	2億7,310万円	2億6,746万円	
	索道事業		4,614万円	4,579万円	1,935万円	1,055万円	
	公共用地先行取得事業		—	—	412万円	412万円	
企業会計	西根病院事業	収益的収入・支出	7億 863万円	7億2,801万円	6億8,732万円	7億3,407万円	
		資本的	収入	2,909万円	2,579万円	1,272万円	8,786万円
			支出	3,720万円	3,406万円	3,285万円	9,295万円
		水道事業	収益的	収入	5億4,079万円	5億3,243万円	5億2,543万円
	支出			5億3,123万円	4億9,655万円	5億 853万円	3億3,721万円
	資本的		収入	2億2,973万円	9,927万円	1億3,093万円	8,303万円
			支出	5億2,579万円	3億7,452万円	4億1,492万円	2億8,921万円

# 歳入全般

**問** 道路特定財源が廃止されたら、市財政への影響は。

**答** 2億9000万円影響が生じると推計している。

**問** 暫定税率廃止で地方財政に穴が開かないよう、手当てする制度はないのか。

**答** 現状では聞いていない。

**問** 道路特定財源が50数年、暫定税率が30数年続いている事自体異常ではないか。

**答** 市長個人としては異常だと感じる。国会で総合的に議論し、1年か2年で結論を出すのが地方の本音ではないか。

**問** 入湯税の徴収方法は。

**答** 特別徴収義務者を定め、その月の分を翌月20日までに申告納付している。

**問** 国は19年度から3年間、地方債の繰り上げ償還を認めるが、市の対応は。また、節減効果の見込み額は。

**答** 3年間で3億7200万円繰り上げ償還の予定で、4700万円程節約となる。

**問** 市の公債費負担適正化計画と、市総合計画や庁舎建設との整合性はどうか。

**答** 計画では、21年度まで

の市債発行は事業ごとに積み上げた具体的数字だが、22年以降は15億5000万円と一律に計画している。市総合計画については、毎年調整しながら実施するが、この範囲内で進める。庁舎建設は9億円起債の予定だが、工事に2年かかる。4億5000万円ずつ地方債を発行し、12億5000万円の範囲内で運用できる。

**問** たばこ税の徴収方法は。

**答** 市内108の小売業者に卸している卸業者へ課税する。市外に本社を置く業者が扱うものは、その業者の管轄税務署が徴収し、本市には配分されない。

**問** 職員の公金流用の事件について、担当課の決裁体制に問題はなかったか。

**答** 当該事務の担当課が次々代わった時期だったことや、代わった担当課が仕組みを把握していなかったことが問題であった。大変申し訳なく思っている。

**問** 職員の不祥事について、市が助成している8団体の事務を一人に扱わせたとの

無理があるのでは。これら団体の事務は公務か。

**答** これらの事務は公務ではないと思われる。今後は各団体が自ら金銭の経理を行うよう指導したい。

**問** 明治百年記念公園小水力発電について、水利権は取れるのか。また、年間を通して使用するのか。

**答** 水利権は県にあるが、目的を逸脱しなければ問題ないと回答を得ている。冬の発電は、今後調査する。

**問** 地上デジタル放送の整備状況は。

**答** 情報格差がないよう進めたい。特に安代地区は難視聴地域が多く、国やNHKの補助で整備に努める。

**問** 本年度、農家へ償却資産の申告をするように指導したようだが、その内容は。

**答** 今まで償却資産の事務

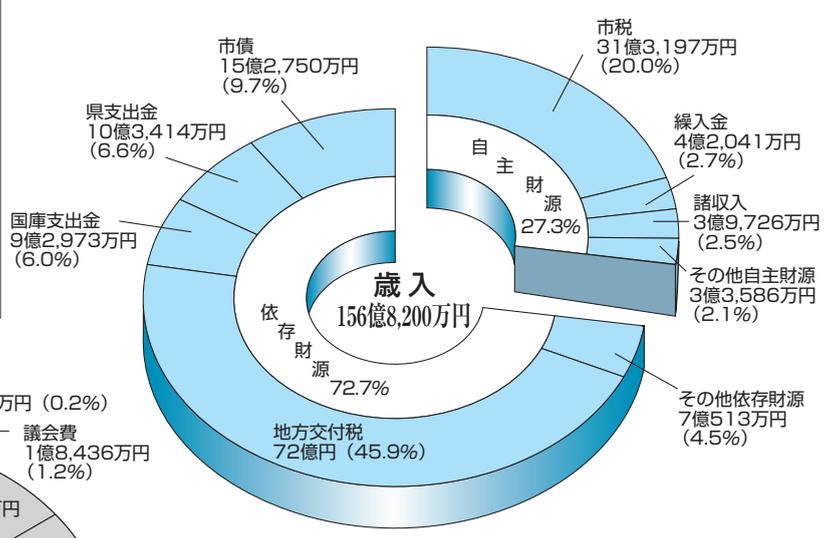


職員不祥事に係る記者会見 (3月4日)

# 総務費

**問** 総務費は、合併市町村振興基金積立金3億円が新たに予算計上されたため2億6,988万円、教育費は9,065万円、災害復旧費は7,089万円前年度よりも増加。一方、農林水産業費は、19年度で雪冷房りんどう培養育苗生産施設を建設したため3億8,466万円、消防費は安代防災センターを建設したため2億7,536万円減っています。

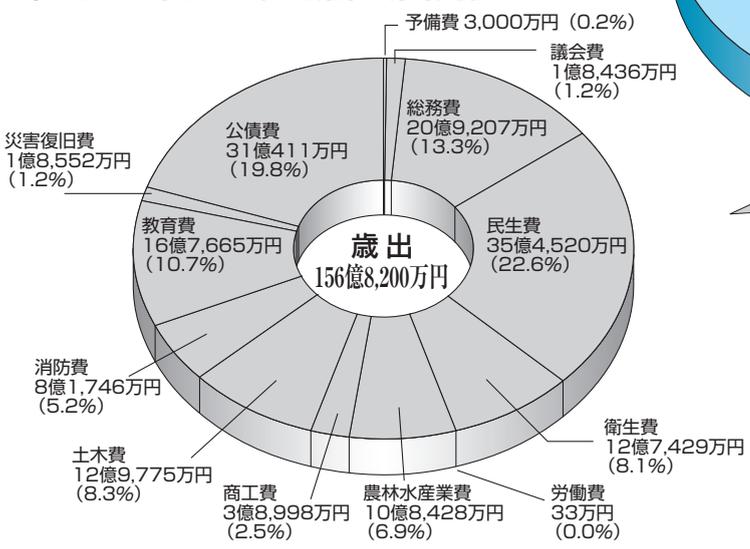
## 平成20年度一般会計歳入内訳



### ◎歳入のポイント

19年度予算と比較すると、最も大きな割合を占める地方交付税は、6,000万円増えて72億円となっています。また、市税が1,244万円増加したものの、繰入金が3億2,966万円、諸収入が2,624万円、その他自主財源が2,700万円それぞれ減少。自主財源比率は2.0%減少し27.3%となりました。

## 平成20年度一般会計歳出内訳



### ◎歳出のポイント

総務費は、合併市町村振興基金積立金3億円が新たに予算計上されたため2億6,988万円、教育費は9,065万円、災害復旧費は7,089万円前年度よりも増加。一方、農林水産業費は、19年度で雪冷房りんどう培養育苗生産施設を建設したため3億8,466万円、消防費は安代防災センターを建設したため2億7,536万円減っています。



障子張り替えを行うシルバー人材センターの皆さん

整理・一本化ができなかったが、電算を統一できたので、収入1000万円以上の農家を対象に通知した。

**問** 納税組合の対応は。

**答** 盛岡税務署管内では、納税組合が次々解散している。今後は各組合と検討しながら進めたい。

**問** 情報機器使用料が半額になっているが、内容は。

**答** 旧西根町がリース契約していた情報機器が、契約満了で無償譲渡を受けた。

**問** 西根バイパス1期工区

開通に伴う、市道松子線の交通量実態把握と対策は。

**答** アクセス道路である山子沢線、中央線、松子線については調査した。大更駅東側全体の在り方を含め、今後取り組んでいく。

**問** 工事入札で、予定価格の67%を最低価格と定めているが、その価格でも業者は十分採算が取れるという説明では、残りの33%は無駄遣いしているのか。

**答** 最低価格方式は、いわゆるダンピング受注防止が

## 民生費

目的だ。最低価格の設定では、直接工費は全額積算されており、直接工費を割ることはない。

**問** 大更小学校区の学童保育は現在2カ所だが、大更公民館新築後は旧大更公民館を使用するのか。

**答** 旧大更公民館改修で1カ所とする計画だったが、耐震診断が必要なため、その結果待ちとなる。耐震改修か学童保育施設建設かは、診断結果で判断する。

**問** 保育所の民営化は、保護者や保育所職員も含めた意思統一をしているか。

**答** 保護者や地域のほか、保育士説明会も行った。総



葉タバコ買い入れの様子を見守る生産者

## 衛生費

**問** 清掃センターの民間委託の見通しは。

**答** 希望業者のアンケート結果、数社が参加したい意向だった。今後、選定委員会で検討する。

## 農林水産業費

**問** 森林整備地域活動支援

じて理解していただいたと思っている。皆さんに不安を与えないよう進めたい。

**問** シルバー人材センターを法人化する利点は。

**答** 法人化の条件（登録者数や活動日数）を満たせる状況になった。法人化すれば国の補助を受けられる。

交付金について、19年度は4050万円、20年度は5000万円の見込みだが、それ以上の場合はどうなるか。

**答** 補正予算措置を講じる。

**問** JAから市に対して、飼料高騰に対する価格補てんの要請はないのか。

**答** 正式要請はない。

**問** いわて希望農業担い手応援事業は、飼料高騰の価格補てんなどに使えないか。

**答** 使えない。

**問** リンドウの新規栽培者は増えているのか。

**答** 西根地区で、転作田に栽培したいとの話がある。

**問** 新規就農者に対し、支援金を出す制度はあるか。

**答** 国の補助金を獲得できるように指導したい。

**問** 集落営農組織の今後の進め方は。

**答** 集落水田ビジョン実践支援事業を予定している。

**問** 花き研究開発センターは、十分な人員体制か。

**答** 人員は十分ではないが、このような試験研究機関を持つ市町村は本市だけであり、今後も頑張りたい。

**問** 葉タバコ立ち枯れ病まん延防止事業45万4000円、農産物生産振興対策費、

分解性マルチ導入に対する助成23万4000円は、他町と比較してどうか。

**答** 岩手町では、タバコ振興会に年間300万円補助している。

**問** リンドウ事業で今後予想される課題と解決策は。

**答** 長期的には、高齢化に伴う生産者減少の問題があり、供給量の確保が今後の課題である。花き研究開発センターを整備し、生産者の組織も、有責任中間法人化していく。

**問** 担い手経営基盤強化総合対策実験事業の内容は。

**答** 制度資金を5割以上借りた場合、自己負担の30%までを補助するという国の補助事業である。

**問** グリーンツーリズムの団体数と利用実績は。

**答** 個人を含む40団体で、3万2000人が利用した。

**問** 農業後継者の結婚対策をやっていない理由は。

**答** 20年以上活動したが、成果が得られなかった。

**問** 農業委員の報酬を増額する考えはないか。

**答** 前回の報酬審議会には諮っていない。他市町村の状況を踏まえ検討する。

# 商工費

**問** 焼走りの湯チップボイラーの予算額と効果は。

**答** 設置費用は約1億円で、約2000万円掛かる燃料費を半分程度にしたい。

**問** 企業誘致に関し、企業から本市に対する要望は。

**答** 雇用確保の照会が多い。市町村や大学などで盛岡広域地域産業活性化協議会を設立し、対応している。

**問** 「豊かな自然エネルギー供給のまち 八幡平市」をアピールする看板設置について伺う。

**答** 必要性は認識している。県には水の大切さを、東北電力には自然エネルギーの関係を教える施設として、看板設置を要請している。

**問** 八幡平の観光を滞在型に進め、団塊の世代のニーズにどう応えるのか。

**答** 今まで癒やし型の観光振興を経験した経過から、地元の食材を観光施設に供給するなど、地元の利を生かした、もてなしの形をしていく支援をしたい。

**問** 第三セクターの経営難を理由に、備品を市が購入

するのは乱暴ではないか。

**答** 債務負担で、その施設に必要な物を入れる考えである。

**問** 市産業振興株式会社が営業担当課長を募集したが、2年間の契約社員という不安定雇用をした理由は。

**答** 会社の先頭に立つ人を求めるもので、正当な評価をし、クリアした場合は正社員とする前提である。

# 土木費

**問** スマートインターチェンジの予定場所と時期は。

**答** 竜ヶ森トンネル前を想定している。時期や必要性は今後協議していく。

**問** 大更中心街の都市計画道路の変更と、地域全体のまちづくりとの整合性は。

**答** 1年かけて計画し、道路と連携を図りたい。

# 消防費

**問** 常備消防費を増額した理由は。

**答** 八幡平消防署松尾出張所へ高規格救急車を約2700万円で購入する。

**問** 消防団員充足率が80%を切った分団の統合計画は。

**答** 時間をかけて、地区の意見を聞いて進めたい。

**問** ホース格納ボックスのない消火栓があるが、整備の計画は。

**答** 今後予算化したい。

**問** 自主防災組織の育成強化はどのように行うのか。

**答** 自治会などで自主防災組織結成を考えている。

**問** 消火栓管理は、上水道



スマートインターチェンジの設置が検討される東北自動車道前森パーキングエリア

# 教育費

課か、消防署(団)か。

**答** 消火栓の管内部は上水道課が管理し、自然水利は消防団管理の部分もある。

**問** 今後、統一化を考えたい。

**答** 防災無線が聞き取れない場所を改善する考えは。

**答** 調査して対応したい。

**問** 小・中学校に配置して

いる「にこにこサポート員」などの成果はどうか。

**答** 支援の必要な子どもがみんなと一緒に勉強できるよう支援しており、各学校から喜ばれている。

**問** 学校のクラブ活動のコーチに報酬を払っては。

**答** 報酬を支払う事で利害関係が生じ、お願いしにくい部分もあり、ボランティアでお願いしている。

**問** 各学校に配置しているパソコンの活用方法は。

**答** インターネットによる検索や、壁新聞作成など総合的学習に活用している。

**問** 浄法寺高校への教育振興補助金の今後の在り方は。

**答** 浄法寺高校に通う生徒が減っている。生徒がいなくなった時に再検討する。

**問** 安代小学校校庭への夜間照明設置の検討結果は。

**答** 中学校への設置を含めて検討中である。

**問** 西根地区と松尾地区の学校給食事業が統合するが、松尾地区学校給食センターの利用計画は。

**答** 補助金の関係で20年度まで別の用途に利用できない。21年度以降は検討する。

**問** 新町幼稚園の21年度廃

止と、子育て支援センターの建設の検討は。

**答** 新町幼稚園は21年度で廃止する。子育て支援センターは計画段階である。

**問** 寄木小学校の補修工事の内容は。

**答** 雨漏りや耐震補強を含め、設計作業中である。

**問** スキー選手の育成のための基金を作る考えは。

**答** スキーに限らず、選手育成の仕組みが必要だ。

**問** 本市で開催される産業考古学会で、松尾鉱山跡地の活用を発表する考えは。

**答** 活用を研究段階である。

**問** 教員住宅を一般住宅化できないか。

**答** 制度上難しいかもしれないが検討したい。

**問** 小学校の統廃合はどう



旧松尾地区学校給食センター



安比川の濁流に削られた道路（平成19年9月18日撮影）

あるべきと考えるか。  
**答** 教科だけが教育ではない。集団の中で社会性を学習するためにも、複式学級となる2学年で16人未満になった段階と考えている。

## 災害復旧費

**問** 昨年9月の集中豪雨で国の激甚災害指定を受けたが、普通災害との違いは。  
**答** 国の補助率が、公共土木は66・7%から82・1%へ、農業施設災害は98・5%、林道災害は65%から78・9%に引き上がる。

## 特別会計全般

**問** 特定健診の方法は。  
**答** 受診券を持参し、指定された会場で受診する。  
**問** 国が定めた公立病院改革ガイドラインへの対応は。  
**答** 西根病院在り方検討委員会にて検討していく。  
**問** 田頭・平笠地区の農業集落排水処理を公共下水道の処理施設につなぐ計画はどうなったか。  
**答** 補助金や管轄省の違いから、接続不可となった。  
**問** 財政状況上、水道料金

## 総括質疑

値上げは必要ないのでは。  
**答** 今後内部留保資金が厳しくなると見込まれ、段階的に値上げしていきたい。  
**問** 田山スキー場の改修に県の補助はないのか。  
**答** 県に要請したが、財政上通らなかった。  
**問** 田山スキー場用地は借地だが、今後の考えは。  
**答** 将来的には買収したい。

## 反対



米田 定男 議員

20年度予算に反対の立場であるが、この予算を全面的に否定するのはなく、市民の暮らしを守るために施策の見直しを求めるものである。今、多くの市民が現在と将来の生活に大きな不安を抱えており、年金問題や後期高齢者医療制度などで国の政治が追い打ちをかけている。自治体政治の最大の役割は、住民の暮らしを守ることである。乳幼児医療費の実質的な完全無料化や、妊婦健診への助成拡大などは積極的に評価するものの、新庁舎建設、平館保育所民営化をはじめとする集中改革プラン、雇用問題、第三セクター問題や合併市町村振興基金などは見直すべきであり、反対討論とする。

## 反対 賛成 討論

## 賛成



工藤 剛 議員

新市誕生から2年7カ月、合併後50年を展望した自治体の総合力発揮とともに、住民の自己決定、自己責任の意思が大事であり、予算の使い道を分かりやすく説明した資料の全世帯配布は、まちづくりの改革である。また、就学前までの乳幼児医療費助成の市単独実施、八幡平消防署松尾出張所への高規格救急車配備、各小・中学校へのAED設置などは重要である。市財政が厳しい中、合併市町村振興基金を創設し財政安定を図ることは、合併効果の運用活用措置として最適と評価する。予算審査の結果、財政危機や行政サービス後退の内容ではなく、積極的に努力されているものと認め、賛成討論とする。

## 政高会

松浦博幸(代表)、工藤忠義、田中榮司夫、田村孝、遠藤公雄、渡邊正、工藤剛

政高会では、同じ財政難の問題を抱えながらも徹底した歳出削減で生き残ろうとしている町と、歳入増収を狙って観光地整備を行った、対称的な町の視察を行いました。

### ◎大分県速見郡日出町

公園管理(芝刈りや清掃)を住民へ委託したり、学童保育の代わりに地域の老人が子どもたちの面倒を見たりと、NPOやボランティア団体などの活発な町民活動が歳出削減を手助けしている。また、町のイベントへの参加やボランティア活動でもらったポイントを住民基本台帳カードに貯めて、町の施設を利用する時に使う「地域通貨」制が活力あるまちづくりに成果を上げている。

### ◎大分県玖珠郡九重町

総工費20億円をかけた大つり橋は、1年間で230万人(町民の200倍以上)の観光客が訪れ、入場料のみならず宿泊や地元農産物の売り上げ増、雇用拡大や遊休地利用など、経済波及効果は356億円とも言われる。



長さ390m、高さ173mは共に日本一と言われる大つり橋

※政高会と民政会(三浦榮吉代表、関義征、関善次郎)は、4月1日付で解散し、同日付で新会派「新生会」を結成しました

## 八起会

高橋守(代表)、勝又紘一、三浦正信、小笠原壽男、小野寺昭一、工藤直道

八起会では、2月5日から7日にかけて埼玉県秩父市と、東京都の市場(北千住、葛西)を視察しました。秩父市では遊休農地の対策と防災について研修しました。市場では産地と市場との関係を学び、競りの様子などを拝見しました。変化している市場の現状を目の当たりにし、本市にも産地として、さらに安定した生産と高い品質が求められていることを痛感しました。和田中学校では、授業に参加し、今話題の同校の現場を視察しました。まさに“公立中学校の限界に挑戦している”そんな学校でした。最終日には、銀座に出店している「いわて銀河プラザ」の現状を視察し、八幡平市商工会の皆さんの活動を見学さ

せていただきました。詳しくは、会派のホームページをご覧ください。(ホームページは「市議会会派八起会」で検索。アドレスは<http://www.hachimantaishi.com/~hakkikai/>)なお、ホームページは随時更新しますので、アクセスしてみてください。



北千住市場を見学しました

緑松会では、平成19年度において11回の定例会と2回の視察研修を実施した。

◎定例会開催 議員定数、報酬の在り方から庁舎建設問題、年金、国民医療体制、後期高齢者医療制度、柏台出張所、松尾総合支所、松尾地区体育館、公民館の耐震と老朽化の問題など、各分野を幅広く検討した。結果としては、北海道ニセコ町での研修から訴えてきた「市の行う事業を分かりやすく説明するための予算説明書」を市内全世帯に配布することが実現。また、松尾体育館は、耐震問題で大規模改修をやめ、体育館と公民館を含めたコミュニティー施設の検討となった。

◎沖縄県名護市視察 今後の交流の在り方を

現地視察で検討。本市の特産品と那覇のタンカン、チャグウ豚肉など相互の展示販売が産業観光の一役を担うが、コスト面が鍵となる。

◎長野県野沢温泉村視察 2月に開催した国民体育大会スキー競技の運営方法を研修。市民参加で経費を大幅削減した状況を視察した。



許田道の駅(名護市)で、特産品交流の在り方を研修しました

## 緑松会

大和田順一(代表)、高橋光幸、高橋俊彦、伊藤一彦、古川津好

## 議会の動き (1月~4月)

### ◎ 1月

- ▶ 12日 伊藤幸男<sup>ゆきお</sup>氏死去(68歳・松尾寄木) = 平成3年から松尾村議会議員を3期、平成7年から副議長を1期
- ▶ 19日 伊藤善悦<sup>ぜんえつ</sup>氏死去(83歳・平笠) = 昭和60年から西根町議会議員を3期、平成元年から副議長を1年、平成2年から議長を2期7年
- ▶ 23日~24日 県市議会議長会理事会・臨時総会
- ▶ 30日 県選出国會議員、国の各省庁及び政党本部に対する実行運動(道路特定財源に係る要請)

### ◎ 2月

- ▶ 6日 全国市議会議長会基地協議会第71回総会
- ▶ 7日 全国市議会議長会第84回評議員会
- ▶ 13日 産業建設常任委員会、議員説明会
- ▶ 15日 議員定数等調査特別委員会理事会
- ▶ 19日 議会運営委員会
- ▶ 22日~3月14日 八幡平市議会第1回定例会

### ◎ 3月

- ▶ 3日 会派合同説明会、議会広報特別委員会
- ▶ 5日 総務常任委員会、産業建設常任委員会
- ▶ 6日 議会運営委員会
- ▶ 7日~12日 予算特別委員会
- ▶ 11日 産業建設常任委員会
- ▶ 14日 議会運営委員会、議員全員協議会
- ▶ 24日 議会広報特別委員会

### ◎ 4月

- ▶ 8日 議会広報特別委員会
- ▶ 10日~11日 県市議会議長会理事会・定期総会
- ▶ 17日~18日 第60回東北市議会議長会定期総会

## 6月定例会日程 (予定)

市議会6月定例会(平成20年第2回定例会)は、6月中旬から約1週間開催予定です(日程は、市議会開催の3日前に決定)。また、必要に応じて臨時会が開催されることがあります。

傍聴を希望される方は、開催当日に市議会議事堂(市役所本庁3階)へおいでください。

開催日程など詳しくは、議会事務局(☎76-2111、内線1320~1323)まで。

堤防決壊で壊れかけた自宅から、家族の思い出が詰まったアルバムを持ち出そうとする名作ドラマ「岸辺のアルバム」。家族にとって、写真は大切な宝物です。でも、家族写真を撮る機会は案外少ないものです。そこで、一生に残る思い出(議会だよりの表紙)付きの家族写真を撮りませんか。電話一本でご自宅へ撮影に伺いますよ。(勇孝)

## 事務局日記

県市議会議長会では、1月30日、東京で道路特定財源の確保に関する実行運動を実施。県内各市議会議長がそろって県選出国會議員や各政党本部を訪れ、地方道路整備の必要性を訴えました。

民主党最高幹部の藤井裕久衆議院議員(写真左)に要請を行う議長団



## 道路の必要訴える

県市議会議長会

産業建設常任委員会では、2月13日、J A全農いわて中央家畜市場(雫石町)と家畜改良事業団盛岡種雄牛センター(滝沢村)を視察。飼料や原油の高騰で経営が厳しい畜産農家の現状を確認しました。

和牛市場の状況を視察する産業建設常任委員(写真左)



## 畜産の現状再認識

産業建設常任委員会

市議会政務調査会では、1月9日、綿帽子温泉館隣に完成したばかりの雪冷房りんどう培養育苗生産施設を見学。施設内部では、昨年発生したウイルス被害を教訓とした今後の育苗計画を伺いました。

サイロ(写真)下のパイプを通じ冷水が育苗施設に送られます



## 雪冷房施設を見学

市議会政務調査会